



6. 支援者対象研修

- 【1】「0歳児の愛着を育てる『コミュニケーション・スキル』」参加者募集中!
 - 【2】「難しさを感じる保護者理解を深め、対応力を高めよう」同日開催 参加者募集中!
- 日時:【1】2019年1月27日(日)9:30~12:30 【2】2019年1月27日(日)14:00~16:30
 会場:【1】【2】共通 北とぴあ 7階 第1研修室
 (JR京浜東北線 王子駅下車 北口より徒歩2分 または 地下鉄南北線 王子駅下車 5番出口直結)
 参加費:【1】3,000円 【2】2,500円 ※【1】と【2】両方とも受講の場合は割引あり

0歳の赤ちゃんとう
どう接すればよいのだろう?

なかなか保護者の気持ちを受け
取れない。保護者に寄り添
う支援とは?

※詳細はホームページ、事務局でご確認ください。皆様のお申込みをお待ちしております。

●出版物の紹介

- *「0歳児支援・保育革命1」～0歳の子育て家庭支援・保育を問い直す～永田陽子著 ななみ書房ブックレット
 内容は ・子育ての変化 ・愛着形成の重要性 ・0歳児の素晴らしい能力 ・子どもが育つ環境再考 ・0歳児支援
 ・保育革命など5項目から構成されています。(税込756円)
- *「ノーバディズパーフェクト・プログラム実践ガイド」～実践への道しるべ～ トポスの会編集
 1章プログラム開催までの道しるべから、実践の手引き、終了後の手続きなどを掲載。最後に読み応えのある
 実践記録を載せました。ぜひお手元に1冊おいてください。(税込800円)

●トポスの会(自主的なファシリテーターの学びの会)

12月 9日(日)13:00~16:00 開催 (於:子ども家庭リソースセンター)

「交流会からみえたもの」「フィンランドの子育て支援ネルボラを視察して 報告」

当センターの NP ファシリテーター養成講座修了者は、どなたでも参加できます。(当日会費会員 300 円、非会員 500 円。)トポスの会に関するお問い合わせは、CFRC 事務局まで。

●寄付金のお願い

【寄付金お振り込み先】
 ゆうちょ銀行 口座記号・番号 00130-4-651522
 加入者名：NPO子ども家庭リソースセンター

～ ご質問、お問い合わせ等は、下記のCFRC事務局まで ～



NPO法人子ども家庭リソースセンター(略称:CFRC)

○所在地 〒114-0002 東京都北区王子 2-18-12ドムス王子 1階 ○Tel&Fax03-6755-2855
 ○E-mail info@kodomokatei.com ○URL <http://kodomokatei.com/>
 ○交通機関 JR線王子駅北口改札から徒歩8分 地下鉄南北線王寺駅5番出口から徒歩7分

編集後記 原稿は人頼み、だから編集は楽なはずなのですが、それがなかなか思うようにはかどらないのが現実でした。今回も内容は充実しています。ご愛読下さい。齊藤まり子
 編集・発行 NPO法人子ども家庭リソースセンター 発行日: 2018年 11月15日



おたより

2018年
11月号

- NP ファシリテーター全国交流・研修会を終えて・・・P 1
- 基調講演・東京都北区の報告・・・P 2
- 分科会報告(1～8グループ)・・・P 3～5
- パネル展示団体の紹介・・・P 5
- アンケート集計結果、実行委員会まとめ・・・P 6
- 「Information」CFRCからのお知らせ・・・P 7～8



NP ファシリテーター全国交流・研修会のご報告

実施日:2018年9月29日(土)10時~16時30分 会場:北区北とぴあ

<NPプログラムの普及をめざして>

CFRC 代表 福川須美

秋も深まり、朝夕は冷え込むようになりました。皆様、お元気でご活躍のことと拝察いたします。さて、9月29日に開催されたNPファシリテーター全国交流・研修会は、実行委員長の中村さんはじめ、トポスの会の皆様の熱意あふれるご尽力によって、実り多い一日となりました。あらためて感謝申し上げます。

NP はカナダ生まれの親支援プログラムです。カナダでは地域に点在するファミリー・リソース・センター等の事業として組み込まれ、養成講座を修了したスタッフがファシリテーターとして実施していることが多いようです。実際、かつて訪問したセンターでは年間プログラムにしっかり位置づけられ、定期的に開催されていました。NP プログラムの5冊のテキストはカナダ連邦政府の保健省が作成しており、いわば公的な子育て支援テキストといっていいいでしょう。プログラム参加者には無料で配布されるのです。

日本ではそのような公的な後ろ盾はありません。私たちは NP プログラムの内容にいわば惚れ込んで、実際、参加して元気になる親たちに確かな手ごたえを感じて、NP 事業を継続してきました。今の子育て事情を知れば知るほどすべての親たちに NP を届けたいと焦ります。なんとかして NP をもっと普及したい、そのためには何が出来るか?なかなか妙案はありませんが、今回北区の実践報告からは多くを学びました。実行委員長のいわれたように「困難を突破する」ために、CFRとして皆様と一緒に具体的な努力を続けたいと思います。

<NPファシリテーター全国交流・研修会を終えて>

実行委員長 中村由美子

9月29日(土)東京都北区北とぴあにて開催致しました全国交流会・研修会には、全国から多くの方々のご参加いただき、誠にありがとうございました。

大盛況のうちに終ることができましたこと、実行委員一同心から嬉しく思っております。

実は、この会には、隠された「副題」がありました。

それは、「堂々巡りから、突破口を見つける」というものです。

Nobody's Perfect Program(ノーバディーズ パーフェクト プログラム)は、本国カナダでは30年の歴史があり、NPO法人子ども家庭リソースセンターは2004年からプログラムを開始し、今年で14年になります。14年という歴史がありますが、未だこのプログラムの認知度は高くなく、実施することも困難な状況が続いており、苦戦しているFAが多いのが現実です。

その現実を目の前に、今回、この状況を打破するヒントが何かないか、とこの交流会を企画、実施致しました。

東京都練馬区光が丘子ども家庭支援センター施設長、新澤 拓治氏を迎えての講演、北区活動成果報告、そして分科会と盛り沢山の内容となりました。

何かしら「突破口へのヒント」をお持ち帰りいただけたと信じ、FA一人一人が今後のご活動、そしてますますのご発展に繋げていただけるのではと願っております。

今回ご参加いただけなかった方々へも、私たちの想いを伝えるために活動を続けて参りますので、楽しみにして下され。そして、ぜひ次回はご参加いただけたら嬉しいです。





* 基調講演 「今の子育て事情に応える NP プログラムとは」 講師 新澤 拓治氏
* 「NP プログラムを導入して 10 年の成果 東京都北区」

第一部として、東京都練馬区光が丘子ども家庭支援センター 施設長 新澤拓治氏をお迎えし「今の子育て事情に応える NP プログラム」と題し、質疑応答の時間も含め、約2時間ご講演いただきました。

近年、私たちを取り巻く環境の大きな変化により、「いまどき」の子育て事情も変化したと感ずることが多い。新澤氏は、「いまどき」とは、晩婚化・晩産化、アウェイ育児、高まる不安と負担の種類等、大きく変化しているといえます。NP プログラムの根幹にある「完璧な人はいない」は、完璧な人はいない、だからこそ、皆来ていいんだよ、ひろばは、「誰でも来ていいんだよ」という基盤があり運営されています。だからこそ、「ひろば」に集い、交流を持つことが大切です。NP テキスト「こころ」を読み返すと、誕生から6ヶ月の赤ちゃんに必要なことは、「安全で安心、愛されている」とう実感であることが繰り返し盛り込まれています。親子間の信頼関係の土台となるものは、「愛着関係」であり、研究からも、非認知能力・愛着関係の土台を形成することは重要であると裏付けられています。すでにそれを基盤としている NP プログラムはしっかりとしたプログラムであることが分かります。また、「虐待」と NP プログラムについては、NP はどこまで有効なのかとよく問われるが、NP はあくまで「予防的プログラム」であり、「一線を越える」手前の虐待指数 重症度1、もしくは2レベルには有効であるという。(ハイリスクには適応しない)なお、このプログラムは、リクルートが大切だと思います。参加者中心のプログラムであり、参加者がグループを育てるため、どういう立場に当たっている親であるか、しっかりと調査し、リクルートする必要があります。リクルートに費やした労力は、参加者の興味に繋がる。

新澤拓治(しんざわたくじ)氏プロフィール

練馬区立光が丘子ども家庭支援センター施設長(所属は社会福祉法人雲柱社)
1987年に東京都江東区にある神愛保育園に保育士として勤務。
いち早く地域子育て支援センターに取組むなど地域に根ざした保育を経験。
その後1999年に江東区子ども家庭支援センターみずべ開設スタッフとなり、そこから子育てひろばの深い世界にのめりこみ実践を続けている。
浦和大学 非常勤講師、厚生労働省 市区町村の支援業務のあり方に関する検討ワーキンググループ 構成員
その他子育て関連のNPO 法人の監事や理事、アドバイザーとしてもご活躍です。



新澤氏講演



北区の報告



「NP プログラムを導入して 10 年の成果 東京都北区」

「子育てするなら北区が一番」を掲げている東京都北区では、2008年度より親育ち支援に着眼し、NP プログラムを導入しました。児童館職員がファシリテーター養成講座を受講し認定を受け、北区内の全ての児童館で講座を展開させたのです。

子育てに不安を持つママ達は、この講座で自分に合った子育ての方法を探ります。「みんな同じ思いをしながら子育てをしていることを知り気持ちが楽になった。」「イライラしたり一人で悩むことがずいぶん減った。」「夫婦で話し合う時間を持つようになった。」「子どもの行動に対し待てるようになった。」「子育てが楽しくなった。」など、感想を寄せてくださっています。子育てに少しずつ自信が持てるようになっていくようです。

(北区 NP プログラムの歩み)

一方、ファシリテーターは、NP のファシリテーション技術をさまざまなシチュエーションで活用しています。保護者会、職員会議、イベントの実行委員会など、参加者皆さんの意見を引き出し、まとめるときにとても有効なのです。講座の回数を重ね経験値をあげ、益々子育て支援に貢献されることを期待しています。

今回の研修会で、他の自治体でも NP 導入の動きはあるものの、まだまだ全国的には認知度が低いようで、会場や託児者探しから参加者のリクルートにいたるまで、ご苦労されていることを知りました。NP が全ての子育て家庭に浸透していくことを切に願っています。

東京都北区浮間子ども・ティーンズセンター 所長 奥村 栄子



「Information」 子ども家庭リソースセンター (CFRC) からのお知らせ

1. NP 体験講座 年 4 回

第 4 回 2019/1/13(日) 募集中、2019 年度第 1 回 2019/4/21(日)、第 2 回 2019/7/21(日)

※時間は全て 13:00~16:00、会場は CFRC。

※受講料 2,500 円(テキスト代 500 円含)。定員 20 名。申込は、開講 3~1 か月前に CFRC 事務局まで。

2. NP ファシリテーター養成講座 年 4 回

通常講座 募集中 第 3 期 2018/11/22(木),23(金祝),24(土),25(日) 講師:永田陽子

募集中 第 4 期 2019/2/16(土),17(日),23(土),24(日) 講師: NP トレーナー

2019 年度第 1 期 2019/5/18(土),19(日),25(土),26(日) <横浜会場> 講師: NP トレーナー

第 2 期 2019/8/17(土),18(日),24(土),25(日) 講師: NP トレーナー

※横浜会場以外は王子にあります、子ども家庭リソースセンター(CFRC)で開催です。

※時間はすべて、前半 2 日間で 9:30~16:30、後半 2 日間で 9:30~17:00。

※受講料 70,000 円(テキスト代 2,000 円および教材費は別) 定員 12 名。

資格申請される場合は、資格申請料 10,000 円が別途必要。申込は、開講 3~1 か月前に CFRC 事務局まで。

3. NP アフター講座 年 3 回

養成講座終了後、プログラムを実施できない間はフォローアップ研修を 2 年毎に、ステップアップ研修を 3 年毎に受けて、NP の手法を学び直しましょう。

NP プログラム実施にブランク (~2年間) のある方は、特に受講をお勧めします。

第 3 回 2019/2/3(日) 募集中、2019 年度第 1 回 2019/5/12(日)、第 2 回目 2019/9/8(日)(予定)

(1)「フォローアップ研修」は 9:30~12:30

(2)「ステップアップ研修」は 13:30~16:30

※会場:子ども家庭リソースセンター(CFRC)

※受講料:各 3,000 円。定員各 20 名。申込は、開講 3~1 か月前に CFRC 事務局まで。

4. レインボウ・ファシリテーター (A) & コーディネーター (B) 養成講座 年 2 回

~喪失体験をのりこえる子どもたちへの援助~

(A)レインボウ・ファシリテーター養成講座 2019/3/16(土) 10:00~17:00 募集中

(B)レインボウ・コーディネーター養成講座 2019/3/17(日) 13:00~16:00 募集中

※会場:(A)、(B)子ども家庭リソースセンター(CFRC)、申込は、開講 3~1 か月前に CFRC 事務局まで。

※受講料:(A)10,000 円、(別途テキスト代 5,000 円)、(B)5,000 円、(別途テキスト代 2,000 円)、定員 12 名。

※コーディネーター養成講座は、レインボウ・ファシリテーター講座を修了し資格を有した方が対象です。

※(A)(B)共に講師は榎田紋子 伊志嶺美津子 ※出張養成講座は随時開催いたします。

5. 子ども家庭リソースセンター「NP の会会員」について

NP ファシリテーター養成講座修了者は、全員加入です。今年度 2018 年度年会費(1,000 円)未納入の方は、お早めにお手続きをお願いいたします。会員期間は 4 月から翌年 3 月までで、年度更新になります。(毎年年会費のご案内を会報と一緒にお届けします。)会費は、会員からの質問や相談への対応等サポートの強化、NP のホームページの運営、会員の NP の実践をバックアップするために使われます。又、年 2 回の会報発行、会員対象の NP フォーラムの開催、会員同士の交流、情報交換、ファシリテーション技能のステップアップを図る研修等の実施、などを予定しています。事務局を NP の会会員の利用にも対応できる開かれた場としています。入会手続きは、CFRC 事務局まで。



***アンケートの集計結果**
***実行委員会としてのまとめ**

参加者の皆様にはアンケートにご協力頂きありがとうございました。以下にその集計結果をお知らせします。

(1) 今回の会の全体的内容について

大変満足：59% 満足：38% 普通：3% 不満：0% 大変不満：0%

●感想

- ・全国にこんなに志を同じくする方がいる！ということに感激です。
- ・NPの活かし方、今後の動行について見えてきました。
- ・これからも生きる力を育む講座をしていきたいと思いました。



(2) 基調講演「いまの子育て事情に応えるNPプログラムとは」の内容について

大変満足：53% 満足：38% 普通：6% 不満：0% 大変不満：3%

●感想

- ・晩産化＝介護と子育てが同時にくる時代、ジェネレーションギャップがある中での子育て仲間、そこでの孤立化など知り、NPに活かしたい。
- ・難しいと感じる内容もありましたが、専門的で詳しいお話でした。聴かせていただける機会を得て、よかったです。

(3) 北区の発表「NPプログラムを導入して10年の成果」の内容について

大変満足：70% 満足：27% 普通：3% 不満：0% 大変不満：0%

●感想

- ・パネラーの方達がハキハキしており、NPに対してもエネルギーに対応しているのが伝わってきました。
- ・北区の子育て支援に対する思いの強さを感じました。
- ・具体的な内容がたくさんきけて良かったです。北区がとても恵まれているということに気がきました。

(4) 分科会の内容について

大変満足：53% 満足：38% 普通：6% 不満：0% 大変不満：0% 無回答：3%

●感想

- ・原点を振り返り、改めて気づき、学びました。
- ・意見交換がとても活発で、時間が足りない程でした。

(5) 子ども家庭リソースセンターやトポスの会に期待すること

- ・どの市町村でも、「NP」開催があたりまえになるぐらい広がっていくための中心になって欲しいです。
- ・今回のような全国交流会はとても良いと思う。フォローアップ研修より学びが多く、とても充実していた。
- ・実践を進める段階は、それぞれの地域で様々です。中央だけでなく、地方で実践や取り組みを広く把握して情報を入れて欲しいです
- ・facebook ページを作る又はブログなどを作ったり、facebook グループを作って、交流をしやすくして欲しいです。
- ・実施データや資料などをHPでダウンロードできるようにして欲しいです。

(6) 今後トポスの会に期待すること 回答はありませんでした。

☆「NPファシリテーター全国交流・研修会」のまとめ

参加申し込みは81名(うち北区職員11名)、うち当日参加者74名、欠席7名でした。基調講演は講師に新澤拓治氏をお迎えしました。昼休みにはパネル交流を行いました。午後の研修会では、北区の職員さんから、10年間NPプログラムを実施した取り組みについて発表があり、続いて分科会は8グループに分かれ、4つのテーマについて熱の入った話し合いが行われました。今回の特色として、行政の方や男性の参加も多く、地域も東京、埼玉、神奈川、千葉、長野、群馬、福島、福岡と多地域に及びました。今回の交流会は、隠れテーマでもある、NPプログラムがもっと実施されるにはどうしたらよいか、交流会をその「突破口」にしよう、という趣旨で行われました。

参加者のアンケートから満足度はかなり高い結果が読み取れます。基調講演の内容や分科会のテーマ決め等細かな所での反省点は多々ありますが、新しい気づきや発想へと次に繋がるものが見つかったことが一番の収穫でした。次回は2019年6月に中規模の研修会を、2020年にはまた今回と同じような規模の交流会ができれば良いとの意見がでました。場所も地方開催の話もでて、すでに来年開催の研修会に向けての実行委員会がスタートします。

分科会報告 その1

4つのテーマについて、8つのグループに分かれて話し合われました。



分科会1 「どんな思いでNPファシリテーター(以後FA)になったか」 トレーナー:石川文子 記録:増谷幸乃

参加者:7名 NP実施数:複数回2名、1回2名、近々予定2名、子育て支援関係者がほとんどであった。自己紹介とともにNPへの動機を書き出し、その後話し合いを行った。

- ①個々の動機: お母さんにNPが有効だと思った、やってみるとさらに素晴らしかった、「教える」のではないので良いと思った。父親同士が繋がり、より前向きな育児参加ができると思った。親の気持ちが知りたいと思った、NPの考え方に魅かれ学んだ、などだった。
- ②話し合い: NPを行うための仲間づくりへの思い、NP参加者がFAになった例、子育てに困っているようでもNPに興味を示さない親がいるのはなぜか、NPは人と人のつながりのプログラム、NPの場に出てくるような話は他ではなかなかできない、など経験に基づく話が展開した。



分科会2 「実施にこぎつけるまで」 トレーナー:木村弘美 記録:園川緑

参加者:9名 行政、支援センターやひろば、フリーランス、学校等、様々な所属。付箋に書かれた内容は、以下の3項目に分類された。

- ①募集: 「なかなか集まらない」等の声に対して、母子保健との連携が大事、インターネット利用が効果的等の意見が出たが「ロコミが一番」との意見に皆でうなづく。またNPプログラムが伝わりにくいとの意見も出て、内容を伝える努力をしていく必要性が語られた。
- ②保育: FAが保育者に参加者の様子を伝える等、保育者との連携の必要性が語られた。それは地域の人作りにもなり、地域にとっても大切なことではないかとの意見もあった。
- ③行政: 連携について話される中、「そもそも行政に力を借りる必要があるのか?」との意見もあった。財源、PR等の必要性が語られたが、まずは自分たちで地道にやっていく必要があるのではと話し合った。最後に「FAの横のつながりは大事」と感想を伝え合って終了した。

分科会3-1 「今後に向けて 各々の役割とは」 トレーナー:永田陽子 記録:栗原幸子

参加者:7名 福岡1、茅野2、浦安1、北区1 加須1名で自己紹介

- ①NPプログラムの現状: 継続実施が中々難しい現状でも、NPプログラムの変わらぬ必要性が語られた。プログラムの良さ素晴らしさをひたすら伝え続けて市やロータリークラブの信頼を得て定期開催や補助金へと繋げることができた、夫の転勤先フィリピンでプログラムを開催した、終了後のアンケートを市長に届けて連携を模索中。浦安は3.11以来プログラムへの関心が弱くなるも今一度頑張りたい。行政の人集めではなく参加者本人の参加意思が大切、全国のFA仲間との協力と関りが大切。参加者の視点で丁寧に伝える、6回実施することの意味と良さ、回数の少ないデモでも意味や気付きのあるプログラムに!
- ②NPプログラムの夢: 全ての子育て親子への愛、どんな困難にも負けないFAの強い思いが語られた。まずはNPプログラムを実施したい、パパ講座をやりたい、若いお母さんを支える人の輪を作りたい。FA仲間が欲しい、NPプログラムを全国に広げたい、理解者を増やしたい、その為に数字で示すことが大切。資金の確保、ブログなどで周知活動を! チラシでは渡しても中々みてくれない、次の世代に繋げ託すためにも、FAを養成していくことが大切。

分科会3-2 「今後に向けて各々の役割とは」 トレーナー:大豆生田千夏 記録:竹内潤子

参加者:8名 北区、新宿区、千葉鎌ヶ谷、長野上田、静岡、埼玉加須市、神奈川川崎から、年齢も様々。FAの経験歴もいろいろ、資格も半数は自費で取っている。

- まずこのテーマで何を話したいか付箋に書きだす。仕事でプログラムを実施している人も行政のなかでの実施も限りがり、今はその後の自分の役割を考えている。ではその役割とは何か。NPの良さや効果を話す内に、このNPの魅力を知ってしまった私達が次の世代へどう伝え、NPのマインドをどう使い、つなぎ広げるかが使命ではないかと話は膨らんだ。実施は金、人、場所、集客等、容易ではない。しかし今日繋がる仲間が見えた、今日違うベクトルが見えた。地域を耕す、地域とつながると先が見える・参加者に笑顔が広がった。



分科会4-1 「いま一度 NP プログラムの原点にもどり、その中身、内容について考察しよう」

トレーナー: 櫃田紋子 記録: 島田朋子

参加者: 8名 1名はこれから FA 資格を希望、他は何度か FA 経験あり、回数はまちまち。自己紹介を兼ねたアイスブレイカー「自分を野菜にたとえたら」で和んだ後、テーマに基づき話したいことを出しあい、以下の3項目とその他に分類して話し合った。

- ①セッションの準備段階: 参加して欲しい親へのアプローチやニーズのつかみ方の工夫。
- ②セッションのスキル: 経験学習サイクルやロールプレイの参加者への伝え方、またディスカッションの方向が FA の思わぬ方向へ進んでしまう時など、実践の中でぶつかる問題。
- ③FA として必要なこと: これから FA 資格を取りたい人も含め、FA の役割という正に原点をそれぞれ考える機会となったメンバーの経験や NP への思いを共有でき、担当トレーナーのファシリテーションも大いに参考になり、これからの NP プログラムに活かせる意義深いセッションとなった。

分科会4-2 「いま一度、NP プログラムの原点にもどり、その中身、内容について考察しよう」

トレーナー: 福川須美 記録: 天野竹子

参加者 9名 自己紹介とテーマを出し合い、話し合った。

- ①参加者の子どもの低年齢化: 半年以下の子どもの親はとくに悩みがないというが、子どもに年齢差があると母親同士先輩と後輩のような関係になって疑問に思う。
逆に、子どもの年齢が異なると先輩ママからはいろいろな情報が伝えられることが良い、その混合のバランスが取れていると良いが、あまりゼロ歳が多いと先輩の経験が聞けない、とくに第一子だと難しい。
- ②参加者が集まりにくい、減っている: 保育園が増え、子ども 3 人いる人は無料とか行政の対策により保育園に入れて働く親が増えた。国の支援の仕方考え方に課題を感じる。
- ③セッションの時間: 子どもが親から離れていられる限界を考えると 1 時間半だが、親同士がしっかり話し合えるには 2 時間が必要。
- ④保育 保育者グループ: 子どもと離れることが目的の人、講座をはしごする人もいる、子どもを第三者に預けて離す練習にするという人もいる、愛着の形成という問題につながるか。NP 保育では親も解放されて成長し、子どもも成長する。保育が重要、茅野では資格のある人、同じ人が同じ子どもを見ている。加須は市が保育者グループを作っている、NP 終了グループが同窓会や交流会をやってその中から保育者が出てくれる、身近な中から保育者が出るのは望ましい。
- ⑤行政、地域とのかかわり: 市からの委託事業になっている、区の児童館職員が FA で実施している。ロータリークラブからも、国からの子育て支援要請もあって支援を得ている。
- ⑥保育園児の親も孤独で NP が必要: 土曜午前に 6 回、働く親に NP を実施した。保育園に通っていて必要がないかと思ったが、やってみると親はとて孤独。会社に行けば会社人間なので育児の相談ができない、夫も会社人間、自分も会社人間で育児については誰にも相談できない。だれにも頼れない、でも頑張らなくてはどういう気持ちかすごくある。在宅親と違って、保育園の親は横のつながりが無い。



各分科会の様子
活発な意見が交
わされました。



分科会4-3 「いま一度 NP プログラムの原点にもどり、その中身、内容について考察しよう」

トレーナー: 芹沢文子 記録: 斉藤まり子

参加者: 9名 10 年前に FA 資格取得した人から申請中の人、経験年数や回数も様々なメンバー構成。NP プログラムの原点をどう捉えているか、2~3人に分かれて考えを出し合い、付箋に書いて内容を説明しながら紙に貼り、全員分を内容で7つに分類した。(5ページに続く)



(4 ページからの続き)

- ①完璧な人はいない・・・「自分はこのままでいい」自己肯定感が生まれる
- ②つながり・・・親同士のつながり、学び合い、気づき！ がつながりになる
- ③愛・・・安全、安心、愛されていることを伝える
- ④安心、信頼・・・安心して話せて笑顔と信頼が生まれる
- ⑤ほっ・・・スッキリ NP の結果
- ⑥みんな同じ・・・子育ての難しさ、私だけじゃなかった。あるあるということと共感
- ⑦P(パートナー)・・・夫婦関係やファシリテーター同士のパートナーの意味があると理解する。



最後に一言ずつ: 勉強し直したい、原点に戻る、分かりやすい質問をする、参加者中心のプログラムであることを頭に入れておく、コ・ファシリテーターとの信頼関係 など。

保育者からの一言: 「1回目から最終回まで、ずっと保育に関わって気づいたことは、お母さんたちがきれいになっていくこと」に皆さん嬉しそうで納得の表情だった。

分科会4-4 「いま一度 NP プログラムの原点にもどり、その中身、内容について考察しよう」

トレーナー: 渡邊暢子 記録: 保泉幸子

参加者: 7名

「なぜ、NP ファシリテーターになったのか・・・」という 自己を見つめ振り返る作業から始まった。保育者として悩んでいる時にこの講座を知って、先に NP を実践している FA に憧れて、退職して時間ができたので、どんな講座なのだろうと興味を持って等、きっかけは様々。また、自分の価値観と向き合うことができる、自分育ちに役立っている。みんな違うを実感できる、参加されたメンバーの変化していく姿が感動的等、実践していく中での振り返りもあり、ファシリテーターの存在・役割にも話が及んだ。まずは、そこに参加されるメンバーへの丁寧なニーズ調査からその様々な思いをテーブルの上のせる、答えはメンバーの数だけあることを大切にしながら一人一人に寄り添っていく、気持ちをキャッチしながら居心地の良い場になったら等、対応も含めて話し合った。

以上、4つのテーマについて8つのグループが、それぞれファシリテーター役のトレーナーとともに NP 式に話し合った結果を、本会の運営委員であるトポス会員による記録をもとに概略をまとめてみました。全国から集まったファシリテーターが NP への思いを交換し、明日からのヒントとパワーを得て持ち帰られたことと思います。(伊)

【パネル展示団体の紹介】

- ★ブーケの会 (代表: 天野竹子さん、鎌倉市内で NP を年1回は実施し、FA も養成している)
 - ★サラダボウルの会 (代表: 木村弘美さん、埼玉県加須市で NP 実施や FA 同士の研修などもしている)
 - ★京築で NP 実行委員会 (代表: 潮見志保さん、福岡県京築市で NP の手法を使い、工夫をして独自のプログラムを実施し、NP を広めようと活動している)
 - ★CLIP in すわ (茅野市で、行政やロータリークラブなどの補助を受け NP を数多く実施している)
- 他には北区、トポスの会、リソースセンターが展示しました。



(ブーケの会)



(サラダボウルの会)



(京築で NP 実行委員会)



(CLIP in すわ)